



中津市犬丸自治会は、地区内の工場で働く外国人労働者を対象に、コメを手渡す取り組みを始めました。

① この取り組みの目的は何でしょう？

.....

② 地区内の外国人支援をコメの配布に決めた理由は？

.....

③ 配布に必要なコメの総量は？どのようにコメを集める計画ですか？

.....

④ 自治会役員の友松光広区長の思いは？

.....

# 居住外国人にエール米



地区の集会所で1升ずつコメを受け取る外国人ら（中津市犬丸）

【中津】新型コロナウイルスの影響で生活に困窮している外国人労働者を支援しようと、中津市犬丸自治会は地区内の工場で働く約170人を対象に、1人につき1升（1・5升）分のコメを毎週日曜日に手渡す取り組みを始めた。3カ月間、計12回続ける方針。28日午前も、犬丸集会所で配る。

## 新型コロナ

地区内には工業団地があり、自動車部品メーカーを中心に工場が集積する。新型コロナウイルスの感染が拡大した4月以来、受注量の減少に伴い実習生や技術員として働く外国人たちも労働日数が激減したという。経済的に不安定な状況に置かれた地区内の外国人らに安心して暮らしてほしいと、自治会役員が各事業所に相談。インドネシアやベトナムから来ている人が多

中津市犬丸自治会、毎週1人1升配布

## 「声掛け合える関係に」

いと分かり、「いぬまるエール米」と銘打ち、食文化的に共通するコメで支援することを決めた。12回の配布に必要な総量は約3ト。自治会の予算で購入するほか、企業の協賛金や各家庭に余剰米の提供を呼び掛けている。初回の21日は外国人らが自治会発行の引換券を手に続々と訪れ、自転車行列をなした。自動車関連の工場に勤めるセ・ティヨ・ウデイヤントさん（24）は「まだ仕事は半分以下。仕送りができず、買い物にもあまり出る余裕がないので助かります。来週もまた来たい」と感謝した。自治会役員の友松光広区長は「アパートが増えて世帯数や住民の把握が難しくなっている。外国人は年々多くなっており、感染防止に努めながら、互いに声を掛け合える関係づくりを進めたい」と話している。（安東公綱）